

全国高校生体験活動顕彰制度

地域探究プログラム

趣旨 高校生の地域づくりや地域の課題解決などに関する体験活動をとおして、問題発見・解決能力を身に付けた新たな価値を創造する人材の育成に資するとともに、それぞれの実践活動の成果や成長を適切に評価し、青少年の体験活動に関する社会的な認知を高める。

企画運営のポイント

1. 地域の起業家や有識者、行政関係者を講師としたフィールドワークを通じて、地域の課題の発見、整理と検討、発表という一連のプロセスを1泊2日で学習できるようにした（オリエンテーション合宿・宿泊実施）。
2. 宿泊実施と学校実施の両事業で同じ講師に依頼したことで、その講師が「伴走者」となり、生徒の探究活動を支え、実現・実行の観点をより重視した探究活動となった（オリエンテーション合宿・学校実施）。

期日 令和5年4月13日（木）～令和5年9月27日（水）（オリエンテーション合宿）
令和5年9月28日（木）～令和5年11月30日（木）（実践活動）

対象 北海道日高高等学校 1年生～3年生

人数・内容

オリエンテーション合宿			
日付	内容	場所	参加者数
4/13(木)・4/14(金) 【宿泊】	ガイダンス、ワークショップ・講話等「地域づくりの理解と課題設定の基礎」、講義・演習①「地域づくりと探究」、発表①	国立日高青少年自然の家 日高町内（フィールドワーク）	9名 (1年生のみ)
4/21(金)	実践活動ガイダンス	北海道日高高等学校	27名
5/12(金)、5/24(水)	講義・演習②「地域課題の探究」	北海道日高高等学校 日高町内（探究活動）	27名
9/13(水)	講義・演習②「地域課題の探究」、発表②	北海道日高高等学校 日高町内（探究活動）	27名
実践活動			
日付	内容	場所	参加者数
9/28(木)～11/30(木)	各自のテーマによる探究活動	北海道日高高等学校 日高町内（探究活動）	27名



参加者の声

- ・バラバラに感じていた地域資源や魅力をまとめていく手順を学べた。
- ・みんなで意見を出し合う方法を学び、それを整理してまとめる方法も学べた。

【成果】

- ・宿泊実施の最初の科目となる「ガイダンス」を、課題解決型の冒険教育プログラムを含む内容で対話的に展開した結果、フィールドワークやグループワークに対する強い動機付けとなり、主体的に取り組む姿が見られた。
- ・1泊2日の短い期間の中で、効率よく探究活動の一連のプロセスを学ぶ機会を与えることができた。また、この学習を活用して、学校実施の探究活動に積極的に取り組む姿が見られた。

【課題】

- ・参加者全員がそれぞれのテーマで探究活動に取り組むことができたが、国立青少年教育振興機構主催の地方ステージ（プレゼンテーション）への応募者はなかった。今後は、エントリーに必要な報告書の作成やプレゼンテーションの技術等も含めて支援して応募者を増やし、発表の場を通じた学びを提供できるようにしたい。